



### 3.危険木の伐採

対策項目	伐採(倒木の危険性、根かえり、枯死寸前)		
現状の課題	<p>倒木の危険性</p>  <p>・幹が腐食され、不安定な状態となっており、倒木の危険性があります。</p>	<p>根かえり</p>  <p>・樹木が衰弱し、自分自身を支えることができずに倒れた跡があります。</p>	<p>枯死寸前</p>  <p>・樹勢、樹形が悪く、枯死寸前となっています。</p>
対策手法	<p>・倒木の恐れがあったり、根かえり、枯死寸前のものは、安全面を考慮して伐採をします。</p>		
説明図	 <p>【参考】平成 30 年度 黒川の桜保全プロジェクト サクラの健康診断 結果報告書</p> <p>・日頃からパトロールを行うことで危険木の早期発見ができ、安全性が高まります。</p>		
主な担い手	<p>行政</p> <p>・危険木の伐採</p>	<p>市民</p> <p>・危険木のパトロール</p>	

## 4.病害部位の除去

対策項目	病害防除(がんしゅ病、根頭がんしゅ病、材質腐朽病)		
現状の課題	がんしゅ病 	根頭がんしゅ病 	材質腐朽病  ベッコウダケ
	・多くのサクラで「がんしゅ病」、「根頭がんしゅ病」、「材質腐朽病」による病害が確認されています。		
対策手法	がんしゅ病：冬の間、こぶの下部で枝を剪定します。罹病枝の見落としが考えられるため、単年で終わらせるのではなく、2～3年は継続して取り組むことが必要です。 根頭がんしゅ病：病根を取り除きます。取り除いた後は、殺菌剤を塗布します。病根は、必要に応じて、焼却し、土壌の取替え、焼土消毒などを行います。 材質腐朽病：材質腐朽病(ベッコウダケ等)を見つけたら、倒木や落枝を予防するため、剪定を行います。樹勢の回復は、樹体の成長(太り)とのスピード競争が鍵となります。健全度が高く、成長が良好であれば、抗菌性物質の蓄積も強化されます。健全度が低い場合は、施肥・土壌改良等によって、健全性の回復が必要となり、幹や大枝が折損した場合は、胴吹きやヒコバエからの再生を試みることも有効です。		
説明図	病害の除去  <p style="text-align: center;">【参考】平成30年度 黒川の桜保全プロジェクトサクラの健康診断 結果報告書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病害に侵されている枝を剪定して除去します。</li> <li>・施肥、剪定、土壌改良などによる樹勢向上の対応も効果があります。</li> </ul>		
主な担い手	行政	市民	
	・病害部位の除去	・病害のパトロール	
樹木医 アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川ではがんしゅ病はソメイヨシノに多く見られる。</li> <li>・木が弱ると病害が出やすくなるので、樹勢を良くする(太らせる)ことが対策となる。</li> <li>・材質腐朽病に感染すると幹の内部が菌で分解されてすかすかになっている。内部が朽ちて自分を支えきれなくなるため、健全に見えていた木が突然倒れることがある。</li> </ul>		



## 5.虫害部位の確認・処置

対策項目	虫害部位の確認・処置(穿孔性昆虫)	
現状の課題	<p>カミキリムシの被害</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川では、カミキリムシによる被害が確認されています。被害が蔓延すると枯死する恐れがあります。</li> </ul>	<p>クビアカツヤカミキリ(特定外来種)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川ではまだ確認はされていませんが、幹の内部を食い荒らす被害が起きるため、注意が必要です。</li> </ul>
対策手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に虫害(カミキリムシなど)のパトロールを行い、適宜、駆除を行います。</li> <li>・成虫を捕獲して種を同定し、生態を知ることも必要となります。</li> <li>・市内にて近年発生報告が出ているクビアカツヤカミキリについては、早期発見、駆除が必要です。</li> </ul>	
説明図	<p>虫害のパトロール</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全のため複数人で確認をしましょう。</li> <li>・パトロールを行う際は、記録(場所、日時、写真など)を残すことをお勧めします。</li> </ul>	
主な担い手	行政	市民
樹木医 アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虫害部位の確認・処置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虫害のパトロール</li> </ul>
樹木医 アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹の根元にフラス(糞と木くずが混ざったもの)があれば、穴の中にカミキリの幼虫がいる。ゴマダラカミキリの幼虫は1~2年穴の中で過ごす。</li> </ul>	

## 6.周辺環境の維持

対策項目	除草、ゴミ拾い	
現状の課題	<p>サクラ根元付近</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川沿いでは、比較的ゴミのない状況に維持されていますが、サクラの根元付近にゴミがあったり、雑草が生い茂っている場所もあります。</li> </ul>	
対策手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・降雨の翌日は、雑草を抜き取りやすい状態にあるのでお勧めです。</li> <li>・市民活動は安全確保のため、人力除草とします。</li> <li>・フェンスの外(河川断面)は危険を伴うため、行政で対応します。</li> </ul>	
説明図	<p>除草、ゴミ拾い</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・除草、ゴミ拾いを行うことで、快適な環境が維持できます。</li> </ul>	
主な担い手	<p style="text-align: center;">行政</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈り、清掃</li> </ul>	<p style="text-align: center;">市民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除草、ゴミ拾い</li> </ul>
樹木医 アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の時期は土壌が乾燥するため草取りは避けたほうが良い。背の高い草を刈り取る程度に留める。</li> <li>・サクラの根と草の根は相性が良いので問題視しなくて良い。菌根菌がサクラの栄養源となる。</li> <li>・黒川の生態系を考えて、生きものとバランス良く共存していくことが重要。例えば冬の時期にサシガメムシが見られる。春以降にサクラにつくオビカレハなどの毛虫の体液を吸うので益虫と言える。</li> </ul>	

## 6.周辺環境の維持

対策項目	ヒトリ生え樹木の伐採	
現状の課題	<p>ヒトリ生え樹木</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・サクラの近くで、ヒトリ生えの樹木が生長して、サクラの生長を阻害している場所があります。ヒトリ生えの樹木が生長すると、サクラの競合木となるため伐採を行います。</li> </ul>	
対策手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木が生長する前に伐採することが効果的かつ効率的であるため、早期に対処します。</li> </ul>	
説明図	<p>ヒトリ生え樹木の伐採</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・街園区域だけではなく、黒川沿いの斜面(河川区域)も同様に対処します。</li> </ul>	
主な担い手	行政	市民
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伐採</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒトリ生え樹木のパトロール</li> <li>・ ヒトリ生えの樹木の早期伐採 (街園区域のみ)</li> </ul>

## 6.周辺環境の維持

対策項目	競合木の伐採・剪定	
現状の課題	<p>競合木</p>  <p>競合木(クスノキ) サクラ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街園には、サクラ以外の樹木もあり、サクラの競合木となっています。</li> <li>・サクラよりも樹高が高かったり、南に位置している場所ではサクラの日照不足が生じています。</li> </ul>	<p>サクラ同士の間隔</p>  <p>サクラ同士の間隔が狭い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サクラが狭い間隔で植えられている場所があり、間隔が狭いことによる、日照障害が起きています。</li> </ul>
対策手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サクラの生育を阻害している競合木は必要に応じて伐採します。</li> <li>・伐採する樹木の選定は、サクラ以外の樹木の効用や街園管理の観点から総合的に判定して行います。</li> <li>・現実的に伐採が難しい樹木(大径木など)は、枝の剪定を行います。</li> </ul>	
説明図	<p>競合木の伐採、剪定</p>  <p>例)将来的に桜を育成するため、クスノキを伐採、剪定します</p>	
主な担い手	行政	市民
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伐採、剪定</li> </ul>	—

## 7.更新

対策項目	樹木の植え付け	
現状の課題	<p>倒木後の土壌</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・病虫害などが原因で衰弱木・危険木となり、伐採されて桜のない区間があります。(新堀橋周辺など)</li> <li>・病虫害に侵された桜のあった場所では、土壌中にセンチウなどが残っている可能性があるため、新たに苗を植え付けても、同じく感染をして枯れてしまいます。</li> </ul>	
対策手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病虫害に侵された桜の場所に桜を植え付ける場合は、土壌の入れ替えを行います。</li> <li>・新たに植える桜の品種は、病害に比較的に強い「ジンダイアケボノ」「コマツオトメ」などを選択すると良いでしょう。</li> </ul>	
説明図	<p>桜の植え付け、樹木苗の寄付</p>  <p>【参考】五条川の桜、新世代へ ジンダイアケボノに植え替え：中日新聞</p> <p>【参考】さくら植樹祭を開催しました：長久手市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでと同様に市民の皆さまの協力(寄付など)をいただき、樹木苗を植え付けます。</li> </ul>	
主な担い手	<p style="text-align: center;">行政</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植え付け場所の提供</li> </ul>	<p style="text-align: center;">市民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 樹木苗の寄付</li> <li>・ 植え付け</li> </ul>